

生涯学習グループ

放課後の子どもたちの居場所づくり ～地域で子どもを見守り、育てる～



昭和・東小学校 『東小こども教室』

〈地域子ども教室推進事業〉

「落ち葉を画用紙に、自由に貼ってもらおうよ。」

「子どもに任せてみるのが、大事だと思うよ。」

8名の指導員さん(地域の有志のボランティア)は、放課後、子どもたちがやってくる1時間も前から、居場所となる小学校の空き教室に集合し、活動の内容や方法について熱心に打合せを繰り返す。床には、先週子どもたちと校庭で拾い集めておいた、銀杏やもみじ、桜などの色づいた葉っぱや松ぼっくりなどがいっぱい置かれている。

『東小こども教室』は、国からの委託事業『地域子ども教室推進事業』を受け、毎週金曜日の放課後に、空き教室や校庭などで様々な活動を行っ

ています。指導員さんたちは、ボール遊びやなわとび、紙ひこうき飛ばしなど子どもたちの思いを受け止め、自由遊びを見守るという姿勢を大切にして、教室を運営しています。

また、折々に“ごんべさんの赤ちゃん”などの歌遊びや紙ずもうなどの昔遊びを教えたり、身近な材料を使ってものづくりをしたりするなど、意図的に企画した体験活動や交流活動も行っています。

「こんにちは。今日は何するのかな。」授業が終わった低学年の子どもたちが、居場所となる教室へ次々と入ってきました。指導員さんに出席カードを渡し、名札をつけ、自分たちで拾ってきた落ち葉を思い思いに画用紙に貼っていく子どもたち。葉っぱ2枚をウサギの耳に・・・銀杏の葉を人の足に……。指導員さんは、子どもたちの思いに耳を傾けたり、ボンドの付け方を教えてやったりと、子どもたちをやさしく見守っていました。

成果と今後に向けて

このような地域の大人の方々の協力を得て、放課後に安全で安心して過ごせる子どもたちの居場所を設けることにより、次のような成果が生み出されることが期待できます。

- ◆ 体験活動や大人との交流活動を行うことで、子どもたちの豊かな人間性や社会性を養うことができる。
- ◆ 地域全体で子どもを見守り、育てるといった機運を醸成することができる。

現在管内では、ボランティアの方々の協力による放課後の居場所づくりが、たいへん多く行われています。

来年度からは、新規事業である「放課後子ども教室推進事業」が、全国的に行われる予定です。事業を実施する小学校におかれましては、趣旨を御理解いただき、連携・協力くださいますようお願いいたします。

子どもたちの居場所づくりがより一層充実していくよう、当事務所としても支援に努めていきたいと思ひます。